

東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

# はっぴゃくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会  
〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F

TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782

E-mail tokyo.koureiki@gmail.com

## 9月26日 第10回実行委員会開催



9月26日（火）東京都生協連会議室で第10回東京実行委員会が開催され30名を超える方々が各地域や団体から参加されました。菅谷事務局長が第36回日本高齢者大会の意義と重点を報告。

「戦争する国への大暴走、最大規模の大企業の内部留保、物価高騰で実質賃金の低下、保険証の廃止、高齢者の負担増と孤立など人権の危機が深刻化している。高齢者大会へ怒りを結集し、学び、交流し闘いの力をつける」と意義を強調しました。

その上で、①戦争する国への暴走にストップをかける②「日本高齢者人権宣言」を力に運動に立ち上がる③地域の高齢期運動を構築する の3点の重点を提起しました。

続いて各部会から現状の到達点が報告されました。

**企画部門**では全体像が報告された後、講座・分科会の取り組みが発言されました。第11分科会「短歌の力で、世の中を変えよう！」では新日本歌人協会が担当していますが、会員さんへは大会のリーフレットを送付、新聞にも600枚折り込んだとのこと、大会に寄せられた作品は小冊子にまとめたいと意気込んでいます。

第10分科会「住まいは人権」では、高齢者だけではなくシングルマザーも住まいで苦労している現状も報告されました。大会では現状と課題を学び合い、意見交換をします。借地借家人組合や都庁の住宅局にいた人などから報告を予定しているそうです。

第12分科会「高齢期運動は地域から…」では、「高齢者人権宣言」をどう運動化・具体化していくか？そもそも高齢期運動とは？など地域での運動の現状とこれからの取り組みについて語り合う

第6分科会「医療費無料化、自己負担ゼロ…」今年には1973年に老人医療費無料化が実現してから50年、1983年に有料化されてから50年目の節目の年です。制度改悪やサービスの削減、国民の負担増などが続いています。もう一度無料化を実現するために無料化を続けている日の出町の現状や課題、自己負担ゼロの運動に取り組んでいる神奈川県社保協などの活動を報告していただいて意見交流をし運動につなげたい。

**組織部門**では各地域から取り組みの現状を報告していただきました。

三多摩実委では10地域22名が集まって「人権宣言の学習会」をしたこと、10月31日には交流集会と実行委員会を予定していること。数台のバス（180名位）を用意することなどが報告されました。文京の東京保健生協では理事会で議論して取り組んでいること、ほくと医療生協では9月の理事会で人権宣言の学習会をしたことも報告されました。小金井や昭島からも現状の報告があり参加者の組織に取り組んでいる状況がわかりました。八王子では遠いこともありWeb会場を設けることを検討しているようです。三多摩実委のバス利用もアリかな？

**設営部門**からは大正大学での出店募集の案内がありました。全国からの参加者にお土産となる物品の出店をぜひ検討してください。詳細は実行委員会へ問い合わせてください。

## うたごえで元気よく開幕を

全体会の開幕を飾るのはシニア合唱団と年金組合合唱団の混成チームです。元気よく開幕できるように準備しています。合唱曲は「仲間の歌」「東京ラブソディー」「東京音頭」の3曲を予定

## 夜の交流会「うたごえ広場」

12日大正大学17:00~19:00に行われる「うたごえ広場」もシニア合唱団が担当します。参加して思いっきり歌いましょう。

## 団体機関紙に掲載されました

全日本民医連の共同組織向け月刊誌「いつでも元気」日本医療福祉生協連の月刊誌「COMCOM」に第36回日本高齢者大会の案内が掲載されました。

各団体の機関紙などにも高齢者大会の案内を掲載してください。

## 多摩地域(多摩市・稲城市)実行委員会が結成

9月1日、多摩地域実行委員会の結成会議が南多摩教育会館で開かれました。年金者組合多摩支部、多摩市社会保障推進協議会、新日本婦人の会多摩支部・稲城支部、東京土建多摩稲城支部、多摩稲城労連、多摩生活と健康を守る会など17団体に呼びかけて開かれました。

司会者の年金者組合多摩支部の佐々木邦夫さんから当日までの経過の報告がありました。呼びかけ人の年金者組合多摩支部・高田一広さん、多摩社保協・安斎きみ子さんが挨拶し今大会成功のための取り組み強化が訴えられました。

東京実行委員会から参加の糀谷明さんから、今大会の意義と東京実行委員会の取り組みの現況が報告されました。

話しあいの中で、大会両日で各20名、延べ40名の参加者組織を目標とすること。自治体要求書提出行動に組みながら進めること。各団体ごとに参加費補助の募金にも取り組むことが確認されました。

10月20日(金)午後2時から永山駅前のヴェルグ永山で「学習会」を開き、取り組みの弾みとすると共に「日本高齢者人権宣言」の学習を行うことが決まりました。

## 23区地域運動交流会



9月19日(火)に東京都生協連会館会議室で23区地域の運動交流会を行いました。前回第30回東京大会から6年、前回並みの取り組みにはまだ届いていません、現状を出し合って活動交流しました。

板橋の状況について年金者組合の方が報告しました。現状では実行委員会作りは無理? 21団体と区労連15団体に案内を送った。年金者組合が参加者を集約する、年金者組合は半額補助する。大正大学へは板橋が一番便利、参加者を増やしていきたい。

北区では8月18日にアンケートを出して区との懇談を行った。医療生協・新婦人・土建・生健会・社保協・建交労が参加、区からは8人(課長)が参加した。懇談の記録を取ったのでこれからの活動に生かしたい。参加者からは区が介護を受けている人の収入状況を把握していないことや無年金者の数も把握していないことに対し区で把握すべきだとの意見や高齢化率が下がった原因は何なのか(再開発で新住人が増えた)などが出

されました。

高齢者大会は前回並みの参加を目指して取り組んでいく。北区では移動分科会「北区戦跡ウォーキング」を担当しているので成功させたい。25日にはリハーサルをやってみる。

杉並では、9月16日に社保協の総会を行い「マイナンバーカード」の学習会をやった。10月には19日・25日と2回の対区交渉を行う。補聴器補助金だけでなく検査も含めた包括的な制度にしてほしい。杉並区議会は女性議員が5割を超え、自公の議員が減った。

高齢者大会は参加費の問題が心配、今まで社保協としては補助などしてこなかったが?

葛飾では、高齢者要求を各団体で7月中に論議し8月10日までに集約した。8月の世話人会で要求項目を整理し要求書を作成、8月30日に区に対して要求書を提出した。10月7日には「葛飾高齢者のつどい」と高齢者懇談会総会を行う。つどいでは介護保険の学習を行う。高齢者大会は前回の東京大会には100名を超える参加者を組織したが各団体で前回は参考にして目標を立ててもらおう。

## 配信テストイベント

大会のWEB視聴が滞りなく行えるように配信テストを行っています。WEB参加を予定されている方は本番前にテストしてみてください。

配信内容は京都大会での山極さんの講演です

配信アドレス(どちらでも同じです)

- (1) <http://youtu.be/rSi8BbXN6xg>
- (2) <http://x.gd/2023test>